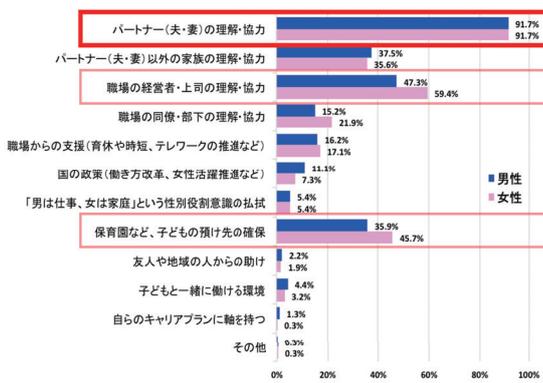




子育て期の仕事継続には「夫婦の協力体制」が不可欠!

Q: 子育てしながら働き続ける上で大切だと思うことは?



【対象】630名(男性315名、女性315名)／日本全国／既婚者／25～39歳 【出典】Logista株式会社(2018年)

■ ダントツ91.7%が「パートナー(夫・妻)の理解・協力」を重視。

■ 2位「職場の経営者・上司の理解・協力」、3位「保育園など子どもの預け先の確保」は支援策が広がっている一方、1位の「パートナーの理解・協力」は自助努力に委ねられているのが現状。

Next Seminar

3 FRI
/ 15



Mar, 15, 2024

3/15 『夫婦会議®』研修体験説明会

この説明会では、従業員の家庭環境を支援し、仕事と生活のバランスを改善するための「夫婦会議®」プログラムの導入についてご紹介します。従業員が夫婦間でキャリアや家庭生活について対話を深めることが、企業の生産性向上にも繋がることをご理解いただける内容となっております。

詳細: <https://qr.paps.jp/P4Zq>



講師インタビュー：子どもたちの未来を創るパートナー②

前回に続いて、3月15日(金)10～12時に開催予定の『夫婦会議®』研修体験説明会で講師を務めて頂く、Logista株式会社共同代表CEO長廣百合子さん、共同代表COO長廣遥さんにインタビュー。今回は前後編の「後編」記事です。

Q3. 『夫婦会議®』の研修・講演プログラムの内容と特徴は何ですか？

長廣百合子さん：
『夫婦会議®』のプログラムは、主に妊娠・産後・育児期の夫婦の協力体制づくりを後押しする内容で、「夫婦の対話」のサポートに注力している点が特徴です。

この時期に家庭と仕事の両立に悩む方の多くが、夫婦のコミュニケーションに課題を抱える一方、自助努力を余儀なくされています。この状況を踏まえ、講話では、夫婦の対話メソッド『夫婦会議®』についてももちろん、産前・産後のリアルな話もデータを交えてじっくり解説。

講師である私たち夫婦の産後の危機・育休取得経験などの実例もご紹介しながら、受講者それぞれに「夫婦でキャリアを考え、対話する機会を持つことの意義」を掴んでもらっています。

長廣遥さん：
基本的に「講話＋ワーク」の構成で、オーダーいただく時間・目的・対象に応じてカスタマイズしています。

時間は、60～90分の講演スタイルから、2～3時間の半日研修、4～6時間の一日研修までさまざま。目的としては、DE&Iの推進や男性育休推進、育休からの復職支援、家庭と仕事の両立支援などの文脈での導入が大半。対象は、妊娠・産後・育児期の社員の方が中心で、夫婦参加、一人参加、男女別などご要望に合わせて対応します。

最近は「結婚・子育てを見据える社員や管理職向けにも聴かせたい」とお声掛けいただくことも増えました。

(次頁に続く)



インタビュー原稿を作成・編集している中で、あらためてお二人の軸というか、向かうべき方向性がしっかりしているの、ぶれずにしっかりと取り組んでいるということにとっても感動しました。

Q4: プログラムの中でもこだわりはございますでしょうか？

長廣 遥さん：
「産前産後のリアル」について言葉を濁さずお伝えすること、『夫婦会議[®]』のノウハウを一つでも多く持ち帰ってもらうことにこだわっています。

そもそも産前産後のことを学ぶ機会は少なく、あるとしたら産婦人科や自治体が主催する教室くらい。

夫婦関係を学ぶ場は更に少ない中、『夫婦会議[®]』のプログラムは、そのどちらもバランスよく取り入れていると言えるかもしれません。

長廣 百合子さん：
もう一つ、受講者の「行動変容」にもこだわっています。

『夫婦会議[®]』は、夫婦の話し合いの総称ではなく、夫婦の対話メソッドとして確立していますので、たくさんのコツやポイントがあります。

ただ、基本的な知識があれば状況に応じて知恵を働かせて「行動」できるようになるので、短時間でも『夫婦会議[®]』の定義の解説と主要なポイントだけは外さずにお伝えして、後半のワークでキッカケを強化しています。

講演や研修の後には「産後の大変さを甘く見ていた。育休取得に向けて夫婦で話し合ってみます」「妻との対話だけでなく、子どもとの対話や職場での人間関係にも活かしたい」など嬉しいお声を多数頂きますが、「次のアクションにつながる感想」かどうか注目しながら、毎回ブラッシュアップしています。

Q5: 最後にアントレ・ラボ通信をご覧になっている方にメッセージをお願い致します。

長廣 遥さん：
弊社で既婚者 630 名を対象に調査した結果によると、「夫婦の関係性（円満かどうか）が、仕事において影響すると思うこと」の 1 位（70.6%）が「仕事のモチベーションと効率」。「影響しない」と回答した人は、わずか 5.6% という結果でした。

また「子育てしながら働き続けるうえで大切だと思うこと」の 1 位（91.7%）は「パートナー（夫・妻）の理解・協力」という結果もあり、仕事において夫婦の関係性が重視されていることは明白です。

多くの子育て夫婦が産後も仕事を頑張りたいと願っている中、『夫婦会議[®]』が持続可能な家庭と仕事の両立の実現に貢献できたら嬉しいです。

長廣 百合子さん：
多様性が重視される社会の中で、企業でも多様な人財をどう大事にしていくのか問われていると思います。

その中で、子育て夫婦はマジョリティとしてサポート対象の後手に回るケースが少なくありません。しかし、一言で子育て夫婦といっても、その実態は「多様」です。

結婚や子育てというライフイベントを迎えた社員の皆さんが、子育てしながら働き続けることに希望を持てるように、『夫婦会議[®]』のプログラムが、貴社の新しいサポートの道筋になれば光栄です！



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

今後の健康経営といわれる中で、社員様の夫婦関係性についても考えてほしいと思いました。社員の身体的な健康だけでなく、精神的な部分は職場のストレスだけでなく、家庭での関係性やストレスも影響していると思います。よりスムーズな夫婦の関係性は社員様の幸せだけでなく、企業全体、社会全体の幸せや繁栄にも大きく寄与する大事なことだと思います。

研修実施報告

社員交流会実施報告

とある企業様で、今期最終回となるオンラインでの社員交流会をオンラインゲームなどを活用しながら行いました。

ゲームを 3 つ行うながら、社員相互の交流と、合意形成や PDCA サイクルを体感的に学ぶという内容になっております。



研修用 HP 制作中

研修に関連したコンテンツを中心にしたホームページを制作中です。

今春にはリリースできるかと思えます。